

## 1・2年 単元名「海の生きもののおもしろさを知ろう」(2時間)

### 1. 単元設定の理由

1学期に想像した海の中の様子につながって、3学期には実際自分たちが住んでいる和歌山の海の素晴らしさ、美しさを体感するために、南紀シーマンズクラブさんの講話を計画した。ダイバーが撮影した写真や動画を使った授業だったため、子どもたちは予想していた以上に色とりどりの生き物がいることに、とても関心をもった様子だった。

振り返りでは、自分たちの住んでいる和歌山の海にこんなにきれいな魚がいることに驚いたことや、色鮮やかな世界により一層、海や海の生き物が好きになった、という感想が交流された。

### 2. 単元目標

和歌山の海の様子を知り、地元も海の美しさや生きものの素晴らしさに興味を持つことができる。

### 3. 単元の評価基準

海の自然に親しみ、進んで関わろうとする。(関心・意欲・態度)

### 4. 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	南紀シーマンズクラブさんの講話を聞く。	・活動後に振り返りを書くことを伝え、それをふまえた上で聞くよう事前指導しておく。
2	学習したことを振り返る。	・初めて知ったこと、おどろいたこと等、思ったことを書くよう指導する。
外部連携 / 教材等 南紀シーマンズクラブ		

## 5. 具体的な学習活動の成果

- ・第1時 南紀シーマンズクラブのダイバーさんからのお話

紀南の海に住む多くの魚

- ・ディズニー映画『ファインディングニモ』に出てくる魚が紀南の海にもいる。
- ・いろんな色や模様の魚がいる。色が変わる魚もいる。

写真や動画、時にはクイズを交えながら聞かせてくれた。児童は大変興味深く聞いていた。



- ・第2時 振り返り

### 1年生

・きょう、うみのいきもののおはなしをききました。わたしは、いろいろなさかなのことをしれて、うれしかったです。ドリーのすんでいるばしょがしれて、うれしかったです。

また、おはなしをききたいです。うみへ行ってさがしたいです。



### 2年生

・わたしは魚がすきなので、水ぞくかんにいってもよくみています。はい色っぽい魚が赤い色に変わったのは、びっくりしました。

・わたしは、赤と青とはい色ぐらいしか見たことがないから、ほかの色の魚もあるんだなと思いました。

・魚は、よこから見るとよこせんだけど、たてにするとたてせんになるんだなあとと思いました。とくに、黄色と赤色がきれいだと思いました。わかやまには、いろいろなしゅるいや色の魚もいるんだな、と思いました。

・魚のためには、海をきれいにして、いっぱい魚にすんでもらいたいです。どこの海にも魚はいるから、どこの海でも大切にしたいです。



### まとめ

1年生も2年生も、低学年なりに地元の海の素晴らしさや海の生きもののおもしろさ、不思議に気づくことができた。振り返りの中で生き生きとした表情が見られたことから、和歌山の海により関心をもてた様子だった。今後の海の時間につながっていく学習になったと考える。

## 3・4年 単元名「地域の海洋生物」(5時間)

### 1．単元設定の理由

- ・体験活動を通して、海に対する豊かな感受性や関心等を培い、海の自然に親しみ、進んで海に関わろうとする児童を育成するため。

### 2．単元目標

- ・昔から地元の生活と関わりの深いクジラについての知識を深める。
- ・クジラやイルカと身近に接することによって、海の生き物たちに親しむ。

### 3．単元の評価規準

- ・海の生き物に興味を持ち、調べようとする。(関)
- ・クジラやイルカの体のつくりや生態について理解することができる。(知)

### 4．単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	<p>・イルカ・クジラは魚の仲間かどうかワークシートくじたんミニ1(太地町立くじら博物館のHPから引用)を使って考える。</p> <p style="padding-left: 20px;">体のつくり イルカと魚のイラストを見ながら ~ に答える。 イルカには、腹びれと尻びれ、ウロコがなく、肺で呼吸することを知る。</p> <p style="padding-left: 20px;">泳ぎ方 イルカと魚の泳ぎ方を尾びれの動きに注目して観察し、スケッチする。</p> <p style="padding-left: 20px;">まとめ イルカやクジラは肺で呼吸する、卵を産まないことから、魚の仲間ではなくヒトと同じほ乳類であることを知る。</p>	<p>・イルカと魚のイラストを大きく表示し、魚の特徴とイルカの特徴を見やすいようにする。</p> <p>・実際に泳いでいる動画を見せる。</p> <p>・肺で呼吸する、卵を産まないことなどから自分たち人間と似ていることに気づかせる。</p>

<p>2 か ら 5</p>	<p>・太地町立くじら博物館の見学。 館内見学 ワークシートくじたんミニ2（太地町立くじら博物館のHPから引用）に書き込む。 イルカショーを見学 飼育員さんによるレクチャー くじたんミニ2の答え合わせ・クジラの生態について話を聞く。 クジラショーを見学 イルカとふれあい体験 胴付き長靴をはいて海に入り、トレーナーさんにイルカの体のつくりなどを教えてもらいながら実際にさわる。</p>	<p>・館内に展示してある物には触らないよう注意する。</p>
<p>外部連携 / 教材等 太地町立くじら博物館 / HP のワークシート</p>		

## 5 . 具体的な学習活動の成果

### ・第1時 事前学習

児童たちはイルカやクジラは、魚と違いほ乳類であることを理解でき、くじら博物館へ行く意欲が高まった。

### ・第2時～第5時 太地町立くじら博物館の見学

#### 館内見学

クジラの骨格標本を見たりしながらワークシートに意欲的に記入していた。

#### イルカ・クジラショー

高くジャンプしたり、輪っかをくぐったり、係の人の笛や合図によって様々な動きをするショーを見た。児童の感想でも、「迫力があった。」「かわいかった。」「色んな動きができることが初めて知った。」など、イルカやクジラにより興味を持つことができた。



### 飼育員さんからのレクチャー

ワークシートの答え合わせをしたり、クジラの生態について詳しく話を聞いた。

- ・クジラの種類。
- ・クジラとイルカの鼻について。
- ・セミクジラの名前の由来
- ・餌について。
- ・ヒゲや耳垢から年齢がわかること。



以上のことを児童の感想の中でも「初めて知った。」「おどろいた。」と多くあり、イルカやクジラについての知識を深めることができた。

### イルカとふれあい体験

胴付き長靴をはいて海に入り、トレーナーさんにイルカの体のつくりなどを教えてもらいながら実際にさわった。児童たちは喜んで積極的に参加していた。感想では、「イルカの体がナスビのような感触だった。」「尾びれの方には骨がないことを初めて知った。」「思っていたよりもツルツルだった。」「やわらかい所やかたい所もあった。」など初めてイルカにさわると児童も多く、新しく学ぶことが多くあったようだ。イルカと接することによって海の生き物全般に対して親しみを持つようになった。



### まとめ

児童は、事前学習の時から真剣に耳を傾け、質問にも積極的に答えようとしていた。専門的な内容の話も出てきたが、児童たちは興味津々になって話を聞いていた。実際に触って確かめることもでき、クジラやイルカに対する知識を深め、さらに興味や関心をもつことができたようである。

今回の学習で、海の生き物について、実際に見たり、聞いたり、触ったりといった体験的な学習をすることによって、海の生き物への親しみをもつことができた。今後高学年で経験するウミガメの保護活動や水産業についての学習へとつなげていきたい。

## 3・4年 単元名「紀南の美しい海を知ろう」(2時間)

### 1. 単元設定の理由

- ・海の自然に親しみ、進んで海に関わろうとする児童を育成するため。

### 2. 単元目標

- ・紀南の美しい海について知り、海の自然に親しみ、海の生き物等について関心を持とうとする。

### 3. 単元の評価規準

- ・海の自然に親しみ進んで海や海の生き物に関心を持とうとしている。(関)

### 4. 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	・南紀シーマンズクラブのダイバーさんから紀南の美しい海の話聞く。	・活動後に振り返りを書くことを伝え、それをふまえた上で聞くよう指導する。
2	・振り返りを書く。	・初めて知ったこと、驚いたこと、これから調べたいと思ったこと等を書くよう指導する。
外部連携 / 教材等 南紀シーマンズクラブ		

### 5. 具体的な学習活動の成果

- ・第1時 南紀シーマンズクラブのダイバーさんからのお話

紀南の海に住む多くの魚

- ・ディズニー映画『ファインディングニモ』に出てくる魚が紀南の海にもいる。
- ・幼魚と成魚で姿が変わる「変身する魚」について。

写真や動画、時にはクイズを交えながら聞かせてくれ、児童達も興味を持って真剣に聞いていた。



### 紀南の海の中の様子

紀南の海をダイビングした時に撮った映像を見せてもらった。児童達は、美しい紀南の海を見て驚いていた。ダイバーさんが海の中でやっていた「バブリング」に興味を持つ児童がたくさんいた。

### ダイビングの用具の紹介

ダイビングをする時の用具を紹介してもらった。実際に触らせてもらったり、酸素ポンペを背負わせてもらったりもした。ダイビングをやりたいと言う児童がたくさんいた。



### ・第2時 振り返りを書く

紀南の海に住む多くの魚のことを知って驚き、「ダイビングをしてみたい。」や「早く夏になって海で遊びたい」など進んで海に関わろうとすることをたくさん書いていた。

### 3年生

- ・知らないことがたくさんありました。ドリーの好きな食べ物は、小さいエビと海藻とレタスだということをはじめて知りました。レタスはすごく意外でした。
- ・バブリングはすごくむずかしいと思います。だけど、ダイバーさんは簡単に次々と出していたので、すごいなあと思いました。
- ・かめの泳ぐスピードは、すごく速いんだなあと思いました。でも、歩くスピードはおそいんだなあと思いました。
- ・姿をかえる魚には驚きました。
- ・海へ潜るための道具がすごかったです。ぼくは、あまり深くまで潜ったことがないからもぐってみたいです。そして、いろんな魚を見てみたいです。

### 4年生

- ・カクレマノミのオスとメスがしっぽで見分けられることに驚きました。ぼくは、見分けがつかないと思っていました。
- ・ウミガメの泳ぐ速度と歩く速度に驚きました。泳ぐときは時速20kmと少し驚いたのですが、歩く速度は1時間でグラウンドを1周できるか、できないかということが1番驚きました。

- ・ぼくは、自分で海のことは知っている方だろうなあと思っていたけど、全然わからなかったなので、少し興味がわいてきました。
- ・バブリングを試してみたいです。

#### まとめ

今回の学習で児童は、ダイバーさんの話に真剣に耳を傾け、質問にも積極的に答えようとしていた。紀南の美しい海や生き物に興味や関心をもつことができたようである。今後は実際にダイビングなど体験をしさらに親しみを持ってもらいたいと考える。

## 1・2年 単元名「紀の松島巡りに行こう」(5時間)

### 1. 単元設定の理由

勝浦港周辺に点在する島は、日本三景の松島に匹敵する美しさから「紀の松島」の通称で親しまれている。ラクダ岩、ライオン島、洞窟の鶴島、山成島などがあり、紀南地方の名所となっている。紀の松島を知ることにより、地域の自然の素晴らしさに気づき、大切にしようとする児童を育成する。

### 2. 単元目標

近隣の海や島の特色を知り、海の自然に親しみ進んで海に関わることができる。

### 3. 単元の評価基準

海の自然に親しみ、進んで関わろうとする。(関心・意欲・態度)

### 4. 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	見学の事前指導をする。	見てくるものの確認と安全面の指導をする。
2 か ら 4	紀の松島巡りの遊覧船に乗り、海や島の様子を見る。	アナウンスに注目させ、島の形や名前を補足する。
5	学習を振り返り、見てきたことを自分の言葉で絵と文で表す。	パンフレットをもとに、学習したことを思い出せるように声かけ支援をする。
外部連携 / 教材等 那智勝浦町観光協会 / 紀の松島巡りパンフレット		

### 5. 具体的な学習活動の成果

#### ・第1時 事前学習

児童は海や島の様子を知るというめあてを知り、学習意欲が高まった。

### ・第2時～4時 紀の松島巡り

勝浦漁港を出発

クジラをかたどった遊覧船「くじら号」に乗り、南紀勝浦漁港を出発。

乗船経験のあまりない児童もいたため、少し緊張しつつも楽しみにして船に乗り込んでいた。



### 紀の松島巡り

周囲17kmの区間に浮かぶ大小の島々、中の島、ラクダ岩、ライオン島、筆島、乙島、洞窟の鶴島、兜島、屋島の戦いに敗れた中将平維盛が入水したと伝えられる島の一つ山成島を巡った。

内海から外海に出るために通った紀の松島では、岩と岩の狭いところを遊覧船が通過し迫力があつた。



児童はアナウンスを聞きながら「ライオン!」「あ、本当だ、ラクダの形。」「どうくつがある。」などつぶやき、楽しんで学習できた様子だった。グリンピアや勝浦の温泉など、行ったことがある場所を海の上から見ることに新鮮な驚きを感じた様である。

「太平洋」という言葉を知っていた児童も、外海に出てから一面に広がる海を目の当たりにして、海の広さを体感した様だった。



### ・第三時 振り返り

学習を振り返り、見てきたことを自分の言葉で絵と文で表した。パンフレットを見ながら見てきたことを思い出して感想が書けていた。

(児童の感想より)

ラクダ岩を見たらすごく大きくてラクダ岩は、すごくほんものみたいでした。船は、せまい岩のあいだをとおっていたからびっくりしました。なみがすごく船をはじいて船がうごいていたのがおもしろかったです。

トンネルみたいなあながあいている岩や、ライオンやラクダのかたちの岩を見ました。なみが高くてもおもしろかったです。けしきがきれいでした。

船で、どうくつのあいだをとおりました。つぎにラクダ岩を見ました。つぎにライオンじまを見ました。なみが大きいのも小さいのもありました。

### まとめ

児童は、日頃から身近なところにある海に新たな魅力を発見し、より深く興味・関心が持てた。今後、中学年で学習することになる地域の海の学習にもつながったのではないかと考える。